

インドネシア廃棄物管理・サービス向上プロジェクト概要

概要：インドネシアにおいて、国家レベルの政策改革と地方自治体の改善・サービス向上を目的とし、廃棄物管理における収集・運搬・リサイクル・中間処理などに焦点を当て、インドネシア政府が20～40の対象自治体を選定し、成果ベースで支援するもの。

実施時期（予定）：2024年9月から約5年間

金額（予定）：3.5億米ドル（約500億円）

インドネシア廃棄物管理向上訪日研修（技術協力事業）

趣旨・目的：上記プロジェクト実施の技術協力事業として、自治体の管理・監督を含む政府の廃棄物担当省庁を対象に、北九州市での研修を通じて、廃棄物処理のフロー、処理技術などについて理解を深める。

研修日程：2023年9月25日(月)～29日(金)

(9月24日(日) : 来日)

9月25日(月)～26日(火) : 東京、横浜市で講義、視察

9月27日(水)～28日(木) : 北九州市滞在

9月29日(金) : 東京でまとめ・グループワーク

(9月30日(土) : 離日)

来北者：22名

世界銀行

代表 東京開発ラーニングセンター代表 クリストファー・パブロ

東京開発ラーニングセンター (TDLC) 4名

インドネシア現地プロジェクトチーム 5名

インドネシア政府

代表 内務省 地域開発局長 レストゥアルディ・ダウド

内務省、環境林業省、公共事業・住宅省 各省局長など 13名